

## 結 言

2017年のJRDR年次調査結果を総括すると、わが国の慢性透析患者数、透析施設とも依然として増加しているが、その増加速度は徐々に低下してきている。導入患者と年末患者の基礎疾患は変わらず、糖尿病が第1位であるが、導入患者に占める糖尿病性腎症の割合はここ数年頭打ちの状態である。2012年の診療報酬改定から急速に増加してきたHDF治療はさらに増加して、全透析患者の28.4%に達した。腹膜透析と在宅血液透析は2016年に比較して微増したが、両者を合わせた在宅透析の比率は依然として2.9%と低かった。

2017年調査では2008年と同様の透析条件の詳細な調査が行われた。蛋白漏出量が比較的多いわが国のon-line HDFや透析条件は、世界的にみて特徴のあるものと言える。JRDRはこれまでに、この特徴と生命予後に関する重要な報告をしてきた<sup>14-16)</sup>。2017年の調査結果をさらに解析して、透析条件についてのさらなる発信が期待される。

また、2017年調査においては、慢性透析治療の疫学において、生命予後と並ぶ主要な転帰となる、入院の有無とその理由が調査された。こちらもまた、主要な予後因子、さまざまな治療指標との関係を解析し、エビデンスに基づいた透析治療質の向上に対する新たな提言が期待される。

### ■地域協力委員 (敬称略)

(北海道) 前野七門, 河田哲也, (青森) 大山 力, (岩手) 清野耕治, (宮城) 佐藤壽伸, (秋田) 佐藤 滋, (山形) 伊東 稔, (福島) 風間順一郎, (茨城) 植田敦志, (栃木) 齋藤 修, (群馬) 安藤哲郎, (埼玉) 小川智也, 熊谷裕生, (千葉) 小倉 誠, 寺脇博之, (東京) 安藤亮一, 阿部雅紀, 柏木哲也, 濱田千江子, (神奈川) 柴垣有吾, 平和伸仁, (新潟) 島田久基, (富山) 石田陽一, (石川) 横山 仁, (福井) 宮崎良一, (山梨) 深澤瑞也, (長野) 上條祐司, (岐阜) 松岡哲平, (静岡) 加藤明彦, 森 典子, (愛知) 伊藤恭彦, 春日弘毅, (三重) 小薮助成, (滋賀) 有村徹朗, (京都) 橋本哲也, (大阪) 稲葉雅章, 林 晃正, 山川智之, (兵庫) 西 慎一, 藤森 明, (奈良) 米田龍生, (和歌山) 根木茂雄, (鳥取) 中岡明久, (島根) 伊藤孝史, (岡山) 杉山 斉, (広島) 正木崇生, (山口) 新田 豊, (徳島) 橋本寛文, (香川) 山中正人, (愛媛) 菅 政治, (高知) 大田和道, (福岡) 田村雅仁, 満生浩司, (佐賀) 池田裕次, (長崎) 錦戸雅春, (熊本) 宮田 昭, (大分) 友 雅司, (宮崎) 藤元昭一, (鹿児島) 野崎 剛, (沖縄) 大城吉則

### 文献

- 1) 中井滋. 日本透析医学会統計調査の歴史. 透析会誌 2010; 43: 119-52.
- 2) 政金生人. 透析療法の動向～統計調査から見えてくるもの～. 透析会誌 2016; 49: 211-8.
- 3) 厚生労働省, 文部科学省. 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」  
[http://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n1443\\_01.pdf](http://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/n1443_01.pdf) (2018.11.27 最終アクセス)
- 4) 一般社団法人日本透析医学会, <http://www.jsdt.or.jp/info/2308.html> (2018.11.27 最終アクセス)
- 5) 中井滋, 若井建志, 山縣邦弘, 井関邦敏, 椿原美治. わが国の慢性維持透析人口将来推計の試み. 透析会誌 2012; 45: 599-613.
- 6) Chapter 11: International Comparison, the 2017 USRDS Annual Data Report. Washington: United States Renal Data System, 2017 [https://www.usrds.org/2017/view/v2\\_11.aspx](https://www.usrds.org/2017/view/v2_11.aspx) (2018.11.27 最終アクセス)
- 7) 中井滋, 井関邦敏, 伊丹儀友, 他. わが国の慢性透析療法の現況 (2010年12月31日現在). 透析会誌 2012; 45: 1-47.
- 8) 秋葉隆, 川西秀樹, 峰島三千男, 他. 透析液水質基準と血液浄化器性能評価基準 2008. 透析会誌 2008; 41: 159-67.
- 9) 峰島三千男, 川西秀樹, 阿瀬智暢, 川崎忠行, 友雅司, 中元秀友. 2016年版透析液水質基準. 透析会誌 2016; 49: 697-725.
- 10) Hasegawa T, Nakai S, Masakane I, et al. Dialysis fluid endotoxin level and mortality in maintenance hemodialysis: nationwide cohort study. Am J Kidney Dis 2015; 65: 899-904.
- 11) 中井滋, 井関邦敏, 伊丹儀友, 他. わが国の慢性透析療法の現況 (2009年12月31日現在). 透析会誌 2011; 44: 1-36.
- 12) 一般社団法人日本透析医学会. 維持血液透析ガイドライン: 血液透析処方. 透析会誌 2013; 46: 587-632.
- 13) Li PK, Szeto CC, Piraino B, et al. ISPD peritonitis recommendation: 2016 update on prevention and treatment. <http://www.pdconnect.com/content/36/5/481.full> (2018.11.27 最終アクセス)

- 14) Abe M, Hamano T, Wada A, Nakai S, Masakane I, Renal Data Registry Committee JSfDT. Effect of dialyzer membrane materials on survival in chronic hemodialysis patients: Results from the annual survey of the Japanese Nationwide Dialysis Registry. *PLoS One* 2017; 12: e0184424.
- 15) Abe M, Hamano T, Wada A, Nakai S, Masakane I. High-performance membrane dialyzers and mortality in hemodialysis patients: a 2-Year cohort study from the annual survey of the Japanese Renal Data Registry. *Am J Nephrol* 2017; 46: 82-92.
- 16) Kikuchi K, Hamano T, Wada A, Nakai S, Masakane I. Association between predilution on-line hemodiafiltration and survival outcomes in dialysis patients. *Kidney Int* (in press)